



リフレクールペイント

「リフレクールペイント」は、水系アクリルシリコン樹脂を使用した高日射反射率塗料（遮熱塗料）です。
基準色4色（淡彩色）の中から、建物にあった色を選ぶことができます。

特長

01 遮熱性

遮熱性を有した高日射反射率塗料です。

02 近赤外線を反射

近赤外線を効率よく反射し、夏季の室内居住空間を向上し、冷房効果を高めます。

03 優れた性能

耐水性・耐アルカリ性・耐酸性に優れています。

■基準色



※掲載の基準色は、印刷により実際の色とは異なります。
あらかじめご了承ください。

用途

一般建築物の屋根・外壁

適用下地

鋼板・コンクリート・セメントモルタル 等

※下地材により下地調整処理が必要になります。

●標準施工仕様

[金属下地の場合]

工程	材料調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所要量
素地調整	ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで、さび、浮き、ミルスケール、旧塗膜を除去した後、ゴミ、ほこり、油などをウエスで拭く。				
下塗り	アクアサピスト 主 材：16 kg 無希釈	刷毛 ローラー	2	3以上 工程内3以上 (23℃)	50 ~ 60 m ² /16 kg 0.26 ~ 0.32 kg/m ²
上塗り	リフレクールペイント 主 材：16 kg 清 水：0.8 ~ 1.6 L	エアレスプレー ウールローラー 等	2	工程内5以上 (23℃)	45 ~ 64 m ² /16 kg 0.25 ~ 0.36 kg/m ²

(注) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。



リフレコールペイント

荷 姿

アクアサビスト N E T 16 kg/缶入
リフレコールペイント N E T 16 kg/缶入

施工上の注意点

- 被塗面の油、湿気、塵埃、水分等の付着物は完全に除去して下さい。油の除去に際してシンナーを使用する場合には、完全にシンナーを揮発させてから 次の工程に移ってください。揮発が不十分の場合は密着不良の原因となります。専用洗浄剤で油を十分に水洗いした後、乾燥したウエスで完全に拭き 取って下さい。
- 新設の場合、ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで、固着していないミルスケール、さびを除去した後、ウエスでゴミ、ホコリ等を拭き 取って下さい。
- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化の程度を確認し、これに応じて行って下さい。劣化にとどまらず、発錆している部分は塗り替え後も劣化の進行があるの で、入念に行なって下さい。

【一般鉄部の塗り替え塗装】

	I	II	III
旧塗膜の状態	旧塗膜に発錆、フクレなどの異常が認められず、汚染とツヤの低下又は白亜化が認められる場合。	部分的にフクレ、発錆など異常のある場合。	発錆、フクレ、剥離など塗膜の劣化の激しい場合。
素地調整	サンドペーパー、サンダーで目荒しの後、ウエス拭きを行う。	ケレン棒、ディスクサンダーなどでフクレ、サビを除去した後、ウエス拭きを行う。	塗膜および錆を完全に除去する。
錆止め塗装	不要	素地の出た部分を補修塗りした上、更に1回塗装する。	錆止め塗料を2回塗装し、錆びやすい部分を増し塗りする。

- ウエス拭きを行う場合は、水で濡らして固く絞った状態で拭き取った後、空拭きして下さい。
やむを得ずシンナーで拭き取る場合は、シンナーを十分乾燥させた後、次の工程に移ってください。シンナーが残存したまま塗装を行うと、密着不良の原因になります。
- 下塗り施工後、浮いてきた点錆は除去して補修塗りをして下さい。点錆を除去せず次の工程に移ると仕上げ後も錆が浮いてきます。
- 水系ですので、高湿度下では乾燥しません。降雨時や高温多湿時は例え屋内であっても施工を避けてください。管理を怠ると発錆の原因となります。
- 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避けて下さい。
- 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれのある場合及び強風時は施工を避けて下さい。
- 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。詳しくは弊社営業所までお問い合わせ下さい。

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は素地の乾燥は十分に行い、水分10%以下、pH10以下で施工してください。
- 外部の地下で巣穴、段差などがある場合、セメント系下地調整塗料「BR#15」等で処理してください。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。詳しくは弊社営業所までお問い合わせください。
- 材料は直射日光下及び0℃以下での保管は避けてください。
- 溶剤系の製品を取り扱う場合は特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 施工時は換気を十分行ってください。
- 希釈の必要な製品は指定の希釈材を使用し適切な量、適切な方法で均一に薄めてください。
- 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがありますので、施工を避けてください。
- 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工してください。
- 降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を避けてください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行ってください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境など条件により、塗膜の膨れ、はがれなどが生じることがあります。
- 被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工してください。
- 外部に施工の場合、彩度の高い色は退色、色むらが早期におこる場合があります。
- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はMSDS(製品安全データシート)を参照してください。



注意点

取扱店

菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎ 052-300-2222(代)

仙台支店 ☎ 022-706-5710

東京支店 ☎ 03-3981-2500

名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

関西支店 ☎ 06-7668-5320

福岡支店 ☎ 092-935-4610

●ホームページアドレス <http://www.kikusui-chem.co.jp/>

